

中小企業景況 [Business Survey of Smaller Enterprises]

[概要 Summary]

景況感は、一層厳しさを増している。

1 『中小企業金融動向調査』（福岡県信用保証協会調査結果） [Finance Survey of Smaller Enterprises]

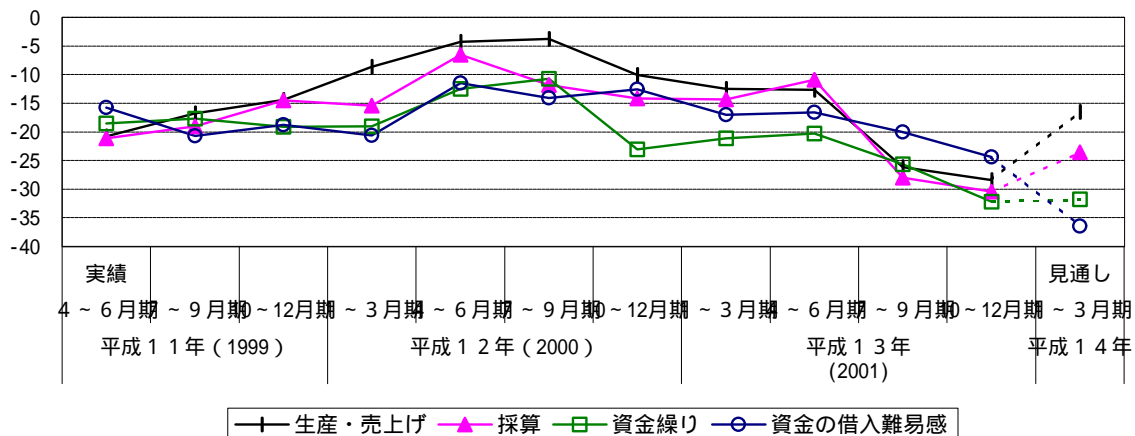
(by Credit Guarantee Corporation of Fukuoka-Ken)

(1) 平成13年10～12月期の概況

生産・売上、採算、資金繰り、資金の借り入れ難易度感で「減少」「悪化」「困難」の割合が拡大している。

		実績	生産・売上げ	採算	資金繰り	資金の借入難易感
平成11年 (1999)	4～6月期		20.8	21.1	18.5	15.8
	7～9月期		16.8	19.0	17.7	20.7
	10～12月期		14.4	14.5	19.1	18.8
平成12年 (2000)	1～3月期		8.6	15.4	19.0	20.6
	4～6月期		4.3	6.5	12.5	11.5
	7～9月期		3.8	11.8	10.7	14.1
平成13年 (2001)	10～12月期		10.1	14.2	23.1	12.6
	1～3月期		12.5	14.3	21.1	17.0
	4～6月期		12.7	10.9	20.3	16.6
平成14年	7～9月期		26.2	28.0	25.7	20.0
	10～12月期		28.4	30.4	32.2	24.4
平成14年	1～3月期	見通し	16.5	23.6	31.8	36.5

中小企業売上等D Iの推移



(注) 調査の概要

- (1) 調査方法
福岡県信用保証協会の保証を利用している中小企業を対象に四半期ごとにアンケートを実施
- (2) 調査時期
平成13年12月上旬
- (3) 対象期間
平成13年10～12月期の実績及び平成14年1～3月期の見通し
- (4) 対象企業数
882企業、有効回答数531企業(回答率60.2%)
(建設業32.8%、製造業20.7%、卸売業16.8%、小売業19.6%、サービス業10.2%)
- (5) 調査内容
売上、採算等の質問に対し「プラス」「中立」「マイナス」の選択肢で調査

中小企業景況 [Business Survey of Smaller Enterprises]

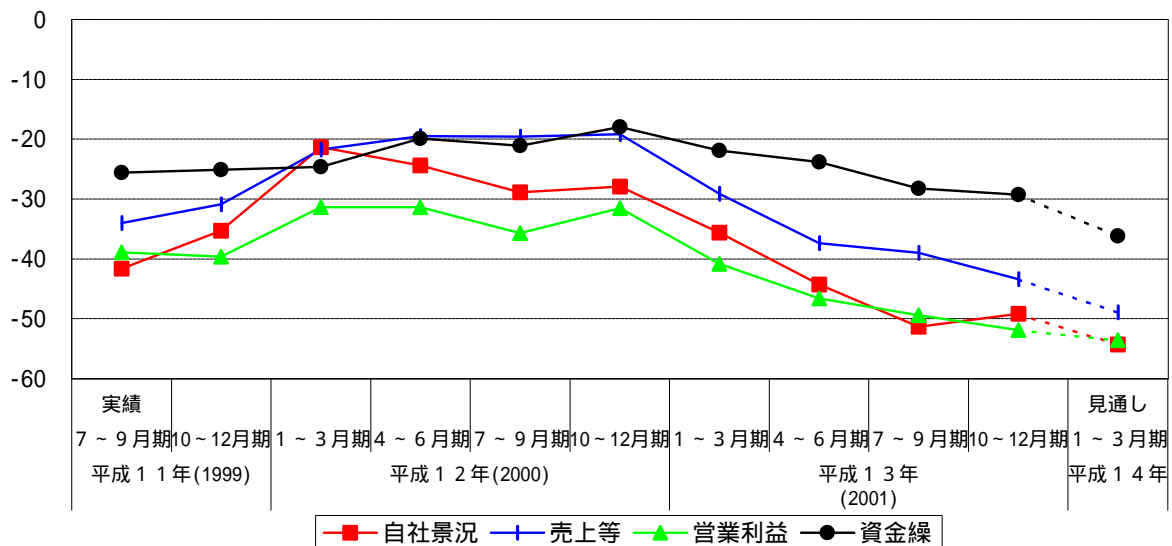
2 『地場企業の経営動向調査』（福岡商工会議所調査結果） [Business Survey of Local Industry] (by Fukuoka Chamber of Commerce & Industry)

(1) 13年10～12月期の概況

ア 自社景況： 49.2となり、マイナス幅は前期に比べ2.1ポイント改善した。

		自社景況	売上等	営業利益	資金繰	
平成11年 (1999)	7～9月期	41.6	34.0	38.9	25.6	
	10～12月期	35.3	30.9	39.6	25.1	
平成12年 (2000)	1～3月期	21.3	21.7	31.4	24.6	
	4～6月期	24.4	19.5	31.4	19.9	
	7～9月期	28.9	19.6	35.7	21.1	
平成13年 (2001)	10～12月期	27.9	19.2	31.5	18.0	
	1～3月期	35.6	29.1	40.8	21.9	
	4～6月期	44.3	37.4	46.6	23.8	
	7～9月期	51.3	39.0	49.4	28.2	
平成14年	1～3月期	見通し	54.3	48.9	53.6	36.2

中小企業景況等D Iの推移



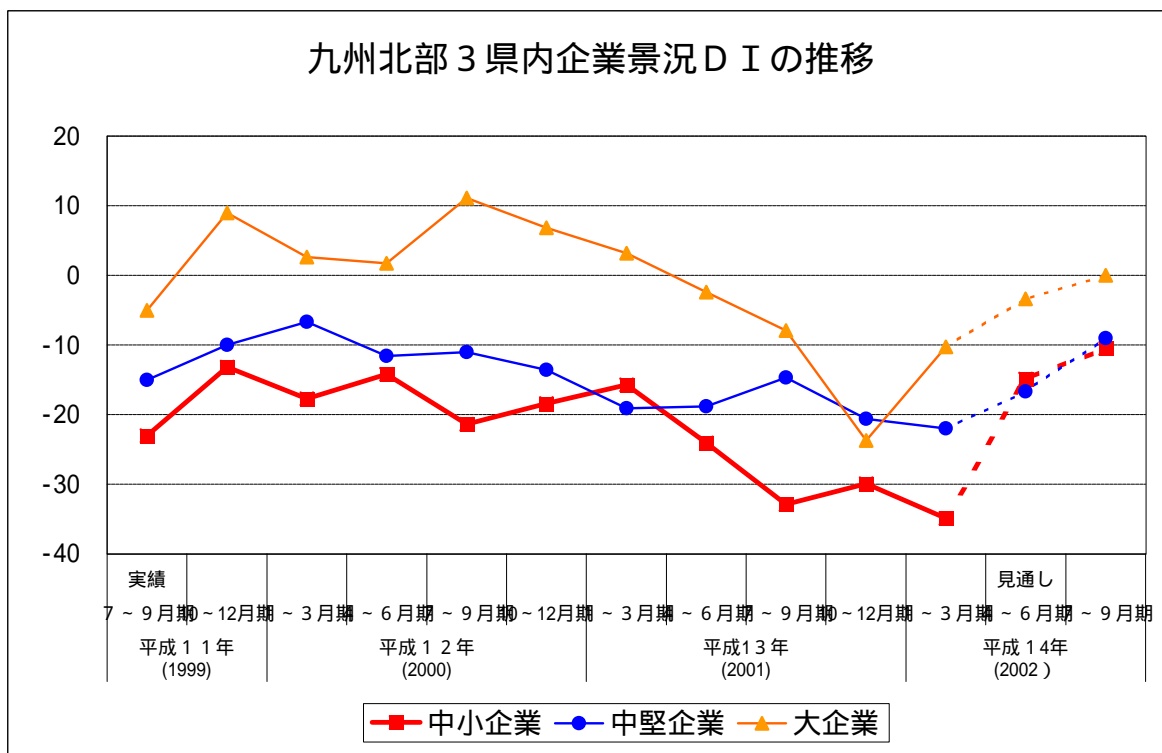
(注) 調査の概要

- (1) 調査目的.....福岡市内地場企業（一部福岡市近郊を含む）の景況及び経営動向を把握すると同時に、これらの情報を企業側へ提供し、参考に資することを目的とする。
- (2) 調査対象.....当所会員企業1,500社を対象とし商工名鑑より任意抽出。
回収数：724社（回収率：48.3%）
- (3) 調査要領.....四半期毎にアンケート用紙を郵送、前年同期比の回答を求めるもので、今回は平成13年10～12月期の実績、及び平成14年1～3月期の予測について平成13年12月末時点で調査した。

中小企業景況 [Business Survey of Smaller Enterprises]

3 『財務省景気予測調査』（財務省福岡財務支局調査結果）
 [Business Survey of Enterprises in North Kyushu (by Fukuoka Local Finance Branch Bureau)]
 (1) 九州北部3県企業景況現況判断（14年1～3月）
 全産業で「下降」超となっているなか、大企業で「下降」超幅が縮小している。

		中小企業	中堅企業	大企業
平成11年 (1999)	7～9月期	23.0	15.0	5.0
	10～12月期	13.2	10.0	9.0
平成12年 (2000)	1～3月期	17.7	6.7	2.6
	4～6月期	14.2	11.6	1.7
	7～9月期	21.4	11.0	11.1
平成13年 (2001)	10～12月期	18.4	13.6	6.8
	1～3月期	15.7	19.1	3.2
	4～6月期	24.1	18.8	2.4
平成14年 (2002)	7～9月期	32.9	14.7	7.9
	10～12月期	29.9	20.6	23.7
	1～3月期	34.9	22.0	10.3
見通し	4～6月期	14.9	16.7	3.4
	7～9月期	10.5	9.0	0.0



(注) 調査の概要

- (1) 調査方法
対象企業に調査表を郵送し、自社記入を求める方法による。主要企業79社にたいしてはヒアリングを実施。
- (2) 調査時期
平成14年2月
- (3) 対象期間
平成14年1～3月期の現況判断及び平成14年4～6月期、7～9月期の見通し
- (4) 対象企業数
大手出先企業を含む548社
(うち中小企業(資本金1千万～1億円未満)251社、中堅企業(資本金1億～10億円未満)138社、大企業(資本金10億円以上)148社)
- (5) 分析方法
前期と比較した「上昇」または「下降」等の変化方向の回答数の構成比から、先行きの経済動向を予測するBSIによる分